

権利擁護センター

れんけい通信

Vol.02
2015夏号

発行

一般社団法人
権利擁護センターれんけい
(発行日 2015/8/1)

【れんけいロゴについて】 「れんけい」というキーワードをどう表現するか、「さまざまな専門性・個性の人と人とのつながり」をイメージして、大きさや色の違う短冊をひとつながりにしてみました。(デザイン・森麻里子)

総会報告

理事・弁護士 河村 健夫

2015年(平成27年)5月29日、港区内「上海風情」を会場として、「権利擁護センターれんけい」の第2回定時総会を開催した。

冒頭、定足数等の確認を行ない、会場出席及び委任出席により総会は定足数を満たして適式に成立した。

続いて、河村健夫理事より基調報告がなされ「第1世界情勢」「第2国内情勢」に続き、「第3れんけいの活動と現状」として、2014年度の多彩な活動が紹介された。

(1) 法人後見の受任

現在、法人「れんけい」として、東京地裁本庁1名、立川支部2名の成年後見人(保佐等含む)となっている。2014年度中に本人が郡山に転居したため郡山の弁護士に後見人を交代して終了したもの1名がおり、いずれも福祉職と法律職がチームを構成して業務遂行にあたっている。

(2) オレンジリボン事業への参加

児童虐待防止全国ネットワークオレンジリボン事業に引き続き参加し、2014年11月に同事業の広報活動を実施した。

(3) 日本医療福祉生活協同組合連合会作成のパンフレット「みんなの安心を守ります～自己決定を支援する成年後見制度～」監修協力

日本医療福祉生活協同組合連合会作成のパンフレット「みんなの安心を守ります～自己決定を支援する成年後見制度～」監修を行なった。

(4) 全国権利擁護ネットワークへの加盟

引き続き加盟し、アンケート調査等に参加した。

(5) 電話相談

毎週火・土曜日に電話相談を実施した。合計97回の相談を実施し、30件相談を受けた。

(6) 面接相談

毎週土曜日に面接(カフェ)相談を実施した。合計38回実施し、47件相談を受けた。

(7) ケース解決支援

持ち込まれた相談のうち支援が必要と判断したケースについては福祉職と法律職のメンバーが担当者となって具体的支援を行なった。合計21件の支援を実施した。

(8) 研修会の実施(詳細は2-3頁参照)

福祉制度等に関する研修会を7回実施した。

(9) 活動報告書の作成

れんけいの活動をまとめる活動報告書を作成し、関係者等に配布した。

上記活動のうち、(5)から(9)に対しては、独立行政法人福祉医療機構(WAM)による助成金が支給され、充実した活動を実施することができた。

その後、財政及び人事の討議に移り、両議題とも原案通り採択をして、総会は無事終了した。

なお、理事の1名より①理事長推薦の件、②自身の理事としての進退を理事会に委ねる、旨の提案を総会の議案として取扱い願いたいと要請があったが、いずれも定款上総会の議案として取り扱うことができないことから、議長から総会参加者に報告し、自由討議のうえ、情報を共有した。

活動も2年目に入り、「れんけい」に寄せられる期待もますます大きくなっていることを実感した1日であった。引き続き、関係各位の緊密な協力を賜ることをお願いして報告とする。



連続公開勉強会報告

弁護士 吉田 伸広

れんけいでは、福祉・法律など、様々な分野の専門家を招いて、公開勉強会（れんけい参加者の研修を兼ねる）を実施いたしました。

2014年4月から2015年3月にかけて、全7回行われた、公開勉強会の内容をダイジェストでご紹介いたします。

2014/7/26 実施

テーマ1「子どもの権利って？」

【講師】 山口 千里氏（社会福祉士）
河村摩実絵氏（社会福祉士）
小島 喜孝氏（社会福祉士）

子どもの権利条約の批准から20年の節目に、子どもの権利についてじっくり学習しました。児童部会の小島喜孝氏より、子どもの権利条約制定の経緯や4つの柱などについての解説と、子どもを保護される対象としてではなく、独立した権利主体として尊重することが大切とお話がありました。その後、様々な局面で問題になる子どもの権利について白熱した議論が交わされました。



2014/9/13 実施

テーマ2「成年後見の財産管理に必要な金融商品の知識について」

【講師】 河村 健夫氏（弁護士）

当法人では、法人受任として後見事件をのべ4件担当しております。成年後見の財産管理業務を行う中で度々判断に迷うのが、株式や投資信託を

はじめとする金融商品の取扱いです。そこで、弁護士であり消費者被害や金融商品に明るい河村健夫氏より「金融商品の基礎知識」についてお話を伺いました。成年後見業務を行う中で、どのような金融商品に出くわすことが多いか、どう対応すべきか、具体的なケースに基づき学習しました。

2014/11/15 実施

テーマ3「憲法カフェ」

【講師】 伊藤朝日太郎氏（弁護士）

昨今、集団的自衛権や特定秘密保護法の問題など、憲法をめぐる議論が盛んになされています。そこで、「憲法カフェ」と題して公開勉強会を開催しました。よく議論されているもののわからない憲法問題について、講師として弁護士の伊藤朝日太郎氏をお招きしました。立憲主義の解説、憲法9条の本当の意味や、集団的自衛権等、国家に騙されないNOと言える国民となるためのヒントをわかりやすく解説していただきました。



2014/12/14 実施

テーマ4「知っておきたい葬儀と墓地の基礎知識」

【講師】 蟹沢 秀光氏
（僧侶 司法書士）
山名田紹山氏
（僧侶 社会福祉士）

突然愛する家族が亡くなる。どうすればよいか分からず慌ててしまう方がほとんどでしょう。よくわからないけど、いつかは直面する葬儀やお墓の話。住職のお立場にある蟹沢氏、副住職のお立場にある山名田氏よりお話を伺いました。古来からの日本人の死者に対する考え方や、他では聞けない葬儀や墓地の豆知識が披露され、大変意義深い勉強会となりました。

2015/1/31 実施

テーマ5 「基礎の基礎 セクハラとDV」

【講師】 山崎 新氏 (弁護士)

セクハラが生じやすい環境にならないように意識すべきこと、DVの身近さやDVが身体的暴力だけではないこと、被害者に残る大きな爪痕などにつき解説がありました。山崎新弁護士の、被害者支援の目的は、加害者と被害者の「公平の回復」であるというお言葉に、支援者として関わることの責任の重さを感じました。



2015/2/21 実施

テーマ6 「司法福祉の現状とそのアクセス」

【講師】 松友 了氏
(刑事司法ソーシャルワーカー、社会福祉士)

刑務所における高齢者や障がい者の過剰収容が社会問題となっている昨今、司法と福祉の連携強化が急務です。そこで、東京地検社会復帰支援室にて刑事司法ソーシャルワーカーとして活動されている社会福祉士の松友了氏にお話を伺いました。刑事司法と福祉との連携の歴史、社会復帰支援室でのご経験、援助を必要とする方々へのアプローチの仕方について理解を深めました。



2015/3/7実施

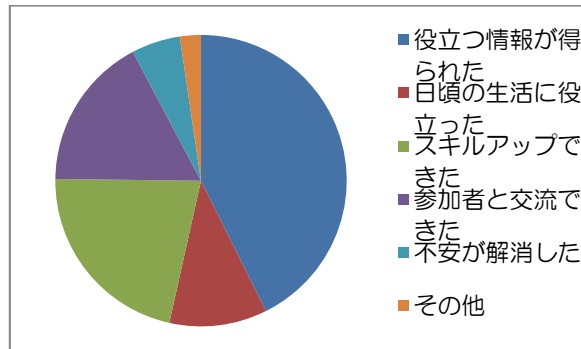
テーマ7 「高齢者の医療と介護・施設はどうなる」

【講師】 矢部 広明氏
(全国老人福祉問題研究会)

民主党政権下で決定された医療・介護制度の改訂。医療費の国庫負担の削減を目指して、高齢者の医療と介護を巡る様相は大きく変化しています。そこで、全国老人福祉問題研究会の矢部広明氏にお話を伺いました。入院と同時に退院指導が行われ、利用者の負担は嵩み、介護報酬は削減される。次々と語られるショッキングな情報に、今後の高齢者福祉についての問題意識を新たにしました。



【参加者アンケート結果 (総計・複数回答可)】



-第1回公開勉強会のお知らせ-

2015年度も引き続き公開勉強会を実施いたします。第1回目は、「青少年のインターネットトラブルと予防」をテーマに、2015年8月29日(土)午前10時~12時日比谷図書館セミナールーム(千代田区日比谷公園1番4号)にて開催いたします。

ご予約は不要となっておりますので、お気軽にお越しください!

その他の活動報告

医療生協連パンフレット監修協力と、今後のれんけいの活動への期待

日本医療福祉生活協同組合連合会
パンフレット制作担当 江本 淳氏

生活者・消費者の集まりである生協にとっても、超高齢社会、とりわけ介護や認知症は大きな関心事です。現在、両親や配偶者等の介護を行っている人もいますし、将来への漠然とした不安を抱えている人もいます。そんな中、成年後見を暮らし

に役立つ制度として上手に活用できないという問題意識のもと、れんけいに監修をお願いしました。れんけいの特徴は何と言っても、その名のとおり多職種が連携していることです。まだまだ縦割りが多い中、貴法人の先見的な活動が大きく発展することを期待しております。



改築に伴い「れんけいCafe」閉店 最終日「カレー祭り」は大盛況！！

2014年度に、れんけいの面接(カフェ)相談スペースや、公開勉強会の場所として利用していた「れんけいCafe」ですが、まーさ金親ビル改築に伴い2015年3月28日をもって一時休店することとなりました。

皆様への感謝を込めて、最終日には「さくらまつり」と銘打って「100円カレー」を振る舞いバザー品を放出するイベントを実施しました(実質「カレー祭り」!)。イベントは大盛況でした。皆様、有難うございました。(再開は未定です)。



「れんけい」メンバーから★寄稿

「れんけい」には、昨年7月より正会員として勉強をさせていただきながら、運営のお手伝いもさせていただき、本年1月に、地元の石川県野々市市にて、独立型社会福祉士事務所「一般社団法人ケアサポートネットワークピーナッツ」を開所しました。

当法人は、「ソーシャルワークを通して、ケアを受けている方だけでなく、ケアラー(ケアをしている方)の身体的・精神的・経済的な負担を軽減し、ケアを受けている方、ケアラーのどちらも充実した生活のための支援をします。」を目的に高齢・親子・障がいに関わる地域サポートを推進しています。

今後も「れんけい」にも携わりながら、協力関係として、よろしくお願ひします。追伸:石川県にお越しの際は、ひと声いただければ、美味しいお店の相談にも乗ります。(社会福祉士 齋田和樹)

http://www.7b.biglobe.ne.jp/~caresapo_peanut/

福祉よろず相談
(介護、児童、家庭等々)
080-9781-0294
差別のないわい オー福祉
一般社団法人
ケアサポートネットワーク
ピーナッツ

はじめまして。弁護士の竹花です。消費者事件(詐欺被害等の救済)を取り扱っています。

消費者事件の被害者で圧倒的に多いのが高齢者の方です。ご相談を受けた場合、弁護士は、相手方を特定して、内容証明郵便を送付して交渉を申し入れます。また、詐欺を行うような業者はすぐに雲隠れすることが多いですから、相手方の財産を調査し、財産があれば仮差押え(訴訟前でも行える不動産などを差し押さえること)をして確保したうえで、訴訟を起こすこともあります。いずれにしてもスピードが非常に重要な要素となります。

怪しい社債や未公開株を買わされたと親族等が気付いて相談にくることもしばしばあります。詐欺の被害に遭わないために、被害に遭った場合にできるだけ早く相談をしていただくために、ご家族や成年後見人のような、高齢者の方に寄り添う立場の人間が必要で

す。
れんけいの活動がその受け皿になれるように日々頑張っています。(弁護士 竹花元)

▽編集後記▽

酷暑続く中、「れんけい通信 (VOL.02) 2015夏号」を無事発行することができました。皆様のご協力に感謝いたします。れんけいの多彩な活動の一端を、皆様にお伝えできれば幸いです。今後ともご支援よろしくお願ひいたします(RT)。

一般社団法人権利擁護センターれんけい
〒105-0003 東京都港区西新橋1-20-1-301
TEL 03-3502-0552